

## 活動報告

### 汚水処理生物研究会定期勉強会 開催報告

理事 千葉 信男

平成 27 年 11 月 14 日（土）14 時より、公益社団法人宮城県生活環境事業協会の会議室と検鏡室において、第 1 回目となる汚水処理生物研究会の定期勉強会および実習会が開催されました。当日は大雨にもかかわらず 20 名の方に参加いただき、遠くは名古屋からの参加者もいらっしゃいました。

まずはじめに大会議室で須藤理事長の講義が、水環境学会誌第 38 巻第 10 号（2015 年）の巻頭言を基に行われました。1959 年 7 月に東京都三河島下水処理場の活性汚泥を顕微鏡で覗いた事が、水処理の世界に入るきっかけとなったことを冒頭に述べられ、活性汚泥や生物膜が水処理の役目を担っているのは、1~2mm 以下の多種多様な生物の複雑な相互作用によることを、1 時間余りに及んで詳しく説明されました。

その後検鏡室に場所を移動して協会の吉田氏より指導を受けながら、顕微鏡の基本操作であるケーラー照明の調整から、実際の検鏡前の試料の作成とモニターを用いた生物の観察を行いました。観察と受講者からの質問に熱が入り、時間が経つのを忘れ、終了予定時間を 30 分以上オーバーして第 1 回目の勉強会は終了しました。

第 2 回目の勉強会は来年、平成 28 年 2 月 13 日（土）14 時から行われます。皆様のさらなるご参加をお待ちしております。

